

別紙

Ⅰ.事業評価総括表（平成30年度）

（単位:円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、 維持補修又は維持運営 等措置	ゴールデンユートピアおおち維持 運営事業	美郷町	20,000,000	10,628,000	

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(平成30年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町	
交付金事業実施場所		美郷町粕浏	
交付金事業の概要		ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業(長寿社会対策)の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図って来ております。このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営していますが、開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。 本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、一般財団法人美郷町開発公社と指定管理の基本協定書(平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間)に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、下半期支払分20,000千円に本交付金を充当します。 このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。	
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標		○交付金事業に係る主要政策・施策: 美郷町第2次長期総合計画(平成28年度～平成32年度) 基本計画4 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち ③保健・医療の充実 ・「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念とし、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。 ○目標:75歳以上の年齢調整要介護者割合(要介護2～5)の現状値(男性12.4%、女性15.6%)維持(平成32年度)	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成30年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和元年度
	各種教室登録者に対して実施するアンケート調査において、自身の介護予防や健康づくりに役立っていると感じた人の割合	教室の内容が満足と思った参加者／各教室の参加者	成果実績	%	94.80%
			目標値	%	50%
			達成度	%	189.60%
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後早期に評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	ゴールデンユートピアおおちで実施している各種健康運動教室の参加者の満足度は年々増加傾向にある。これは、当該施設の健康に関する取り組みが広く浸透し、住民の健康づくりに大きく役立ってきているためと評価している。また、平成30年度の水中運動教室参加者における、参加のきっかけは「知人からの紹介」が70.1%と高く占めており、口コミによる波及効果が極めて高い状況であると判断している。 今後の課題としては、参加者の平均年齢が教室によっては80歳のものがあるなど、全体として参加者層が高齢者が大半であることから、ダイレクトメールなどによる呼びかけに加え、こまめな電話連絡などのアプローチを積み重ねることで「リピーター確保とともに新規開拓につなげていく必要がある」と認識している。これらの取り組みを通じて、施設全体の認知度向上と来場者数増加につなげていきたい。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成30年度	年度	年度
	介護予防教室(水中運動教室)の開催回数 1ヶ月16日(週4日開催×4週)×6ヶ月 (交付金事業期間)		活動実績	回	93		
			活動見込	回	96		
			達成度	%	96.9		
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度		平成30年度		備考	
総事業費	20,000,000	20,000,000		20,000,000			
交付金充当額	10,720,000	10,237,000		10,628,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	10,720,000	10,237,000		10,628,000			
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
	ゴールデンユートピアおおちの管理運営		随意契約(特命)		一般財団法人 美郷町開発公社(美郷町)		20,000,000(半年分)
計							20,000,000
交付金事業の担当課室	美郷町企画財政課						
交付金事業の評価課室	美郷町企画財政課						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている市町村の上位政策・施策とその目を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。
当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には要因分析及次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は、事業を実施した課室、交付金事業の評価課室の欄は、事業評価を実施した課室の名称を記載すること
事業実施課室と評価実施課室が同一でも差し支えない。